

45-A-051 骨の種類で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 腸骨は扁平骨である。
2. 肩甲骨は短骨である。
3. 膝蓋骨は短骨である。
4. 手根骨は種子骨である。
5. 中足骨は長管骨である。

45-A-052 筋と付着部との組み合わせで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 縫工筋——上前腸骨棘
2. 中殿筋——腸骨稜
3. 長内転筋——恥骨結節
4. 大腿直筋——坐骨結節
5. 大腿筋膜張筋——下前腸骨棘

45-A-053 表情筋はどれか。2つ選べ。

1. 咬筋
2. 頬筋
3. 側頭筋
4. オトガイ筋
5. 外側翼突筋

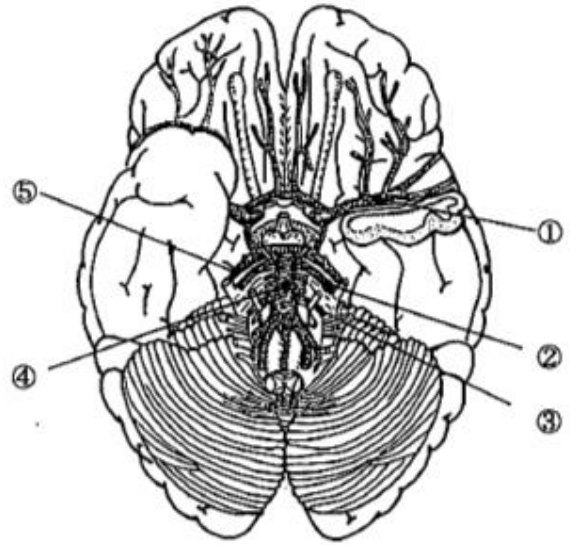
45-A-054 大脳基底核はどれか。

1. 嗅球
2. 視床
3. 淡蒼球
4. 松果体
5. 歯状核

45-A-055 神経と走行との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 正中神経——Guyon管
2. 尺骨神経——手根管
3. 橈骨神経——肘部管
4. 総腓骨神経——腓骨頭下
5. 大腿神経——足根管

45-A-056 図に示す血管名で正しいのはどれか。2つ選べ。

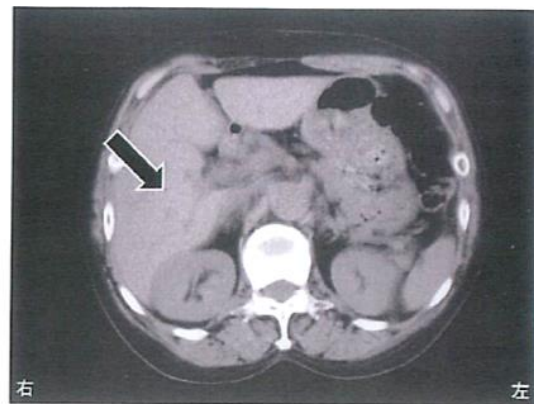


1. ①—中大脳動脈
2. ②—椎骨動脈
3. ③—上小脳動脈
4. ④—脳底動脈
5. ⑤—内頸動脈

45-A-057 表在静脈はどれか。

1. 総腸骨静脈
2. 外腸骨静脈
3. 大腿静脈
4. 膝窩静脈
5. 大伏在静脈

45-A-058 腹部単純CTを示す。矢印の臓器はどれか。



1. 肝臓
2. 腎臓
3. 膵臓
4. 胆嚢
5. 脾臓

45-A-059 正しいのはどれか。

1. 右腎は左腎よりも高い位置にある。
2. 集合管は腎門を通る。
3. 腎杯はネフロンに含まれる。
4. 尿細管は腎小体に含まれる。
5. Henle 係蹄は尿細管に含まれる。

45-A-060 筋腹が触診できるのはどれか。2 つ選べ。

1. 肩甲下筋
2. 腕橈骨筋
3. 長母指屈筋
4. 方形回内筋
5. 橈側手根屈筋

45-A-061 タイプ I とタイプ IIb との骨格筋線維における比較で正しいのはどれか。

1. タイプ I は疲労しやすい。
2. タイプ I はミトコンドリアの量が少ない。
3. タイプ IIb は抗重力筋に多い。
4. タイプ IIb は単収縮の速度が遅い。
5. タイプ IIb はミオグロビン量が少ない。

45-A-062 反射と反射中枢との組合せで正しいのはどれか。

1. 下顎反射——C1-3
2. 上腕二頭筋反射——C3,4
3. 上腕三頭筋反射——C6-8
4. 膝蓋腱反射——T12, L1
5. アキレス腱反射——L3,4

45-A-063 健常人の安静覚醒時の脳波で正しいのはどれか。

1. 振幅は α 波よりも β 波の方が大きい。
2. α 波は精神活動によって増加する。
3. 成人型になるのは 6 歳ごろである。
4. 開眼によって β 波は抑制される。
5. 成人では δ 波は出現しない。

45-A-064 副交感神経が優位に働いたときの反応はどれか。

1. 散瞳
2. 心拍数増加
3. 気管支収縮
4. 皮膚血管収縮
5. 膀胱括約筋収縮

45-A-065 心臓で正しいのはどれか。

1. 心筋の収縮は主に水素イオンの細胞内流入によって生じる。
2. 通常、心筋は伸張されると収縮力が低下する。
3. ノルアドレナリンは心筋収縮力を増加する。
4. 左心室と左心房とは同時に収縮が始まる。
5. 収縮期に冠血管の血流は増加する。

45-A-066 嚥下で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 嚥下反射の中枢は橋にある。
2. 口腔期に軟口蓋は上方移動する。
3. 咽頭期に喉頭が反射的に挙上する。
4. 嚥下反射時に呼吸は継続して行われる。
5. 食塊が食道に入るときに輪状咽頭筋は緊張する。

45-A-067 腎臓でアミノ酸の大部分が再吸収されるのはどれか。

1. Bowman 嚢
2. 近位尿細管
3. Henle 係蹄
4. 遠位尿細管
5. 集合管

45-A-068 ホルモンと産生部位との組合せで正しいのはどれか。

1. プロラクチン放出ホルモン—下垂体
2. サイロキシン——視床下部
3. カルシトニン——上皮小体
4. セクレチン——副腎
5. エリスロポエチン——腎臓

45-A-069 正しいのはどれか。

1. 力は質量と速度との積である。
2. 仕事は力と距離との積である。
3. ジュールは力の単位である。
4. ワットは仕事の単位である。
5. ニュートンは仕事率の単位である。

45-A-070 口裂を閉鎖するのはどれか。2つ選べ。

1. 頬筋
2. 広頸筋
3. 口輪筋
4. 顎二腹筋
5. 顎舌骨筋

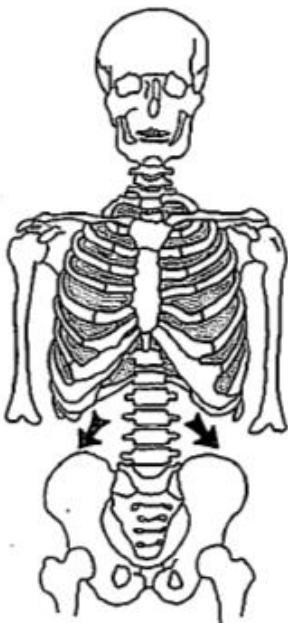
45-A-071 肘関節で正しいのはどれか。

1. 腕橈関節は球関節である。
2. 腕尺関節には関節円板がある。
3. 肘角は小児より成人で大きい。
4. 腕尺関節は回内・回外運動を行う。
5. 橈骨輪状靭帯は橈骨に付着している。

45-A-072 膝関節で正しいのはどれか。

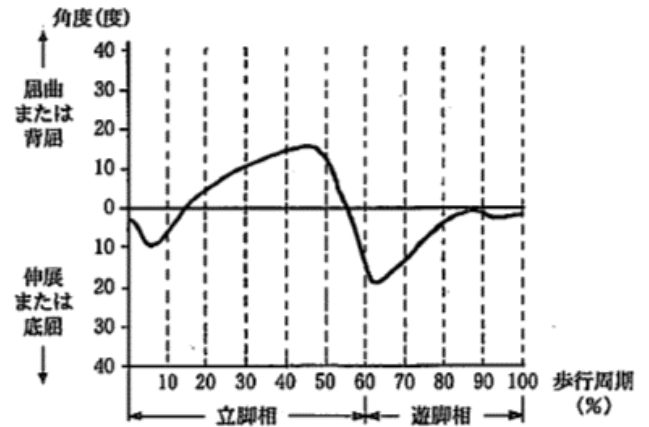
1. 外側側副靭帯は屈曲位で緊張する。
2. 最終伸展時に脛骨の外旋が起こる。
3. 外側半月は外側側副靭帯と結合する。
4. 大腿骨軸と脛骨軸とは軽度内反している。
5. 後十字靭帯は大腿骨の顆間窩後方に付着する。

45-A-073 呼気の補助筋で図中の矢印の方向へ胸部を引き下げるのはどれか。



1. 腹直筋
2. 大腰筋
3. 腰方形筋
4. 内腹斜筋
5. 外腹斜筋

45-A-074 歩行中の矢状面上の関節運動を図に示す。この関節はどれか。



1. 肩関節
2. 肘関節
3. 股関節
4. 膝関節
5. 足関節

45-A-075 アポトーシスで正しいのはどれか。

1. 細胞環境の悪化によって生じる。
2. 高濃度の酸素投与で予防できる。
3. マクロファージの浸潤を伴う。
4. DNAの断片化が生じる。
5. 核が膨張する。

45-A-076 閉塞性動脈硬化症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 男性よりも女性に多い。
2. 20~30歳代に多い。
3. 低血圧の合併が多い。
4. 間欠性跛行がみられる。
5. 主に四肢の近位側の動脈が侵される。

45-A-077 細菌感染による急性炎症反応で増加するのはどれか。2つ選べ。

1. 肉芽腫
2. 好中球
3. 網状赤血球
4. ヘモグロビン
5. プロスタグランジン

45-A-078 良性腫瘍と比較した悪性腫瘍の特徴はどれか。2つ選べ。

1. 出血壊死が少ない。
2. 増殖の速度が遅い。
3. 細胞の分化度が低い。
4. 細胞の核分裂が少ない。
5. 周囲との境界が不明瞭である。

45-A-079 患者が治療者に不満を抱き、沈黙を続けているときの防衛機制はどれか。

1. 抑圧
2. 否認
3. 解離
4. 行動化
5. 反動形成

45-A-080 Erikson による各発達段階の課題で正しい組合せはどれか。

1. 乳児期——信頼
2. 幼児期——勤勉性
3. 学童期——親密
4. 青年期——自律性
5. 成人期——同一性

45-A-081 模擬場面でのリハーサルを技法として用いているのはどれか。

1. 森田療法
2. 交流分析
3. 内観療法
4. 認知行動療法
5. 支持的精神療法

45-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で「活動」に含まれる項目はどれか。2つ選べ。

1. 更衣
2. 嚥下
3. 入浴
4. 呼吸機能
5. 関節可動域

45-A-083 障害受容に至る心理状態で誤っているのはどれか。

1. 否定
2. 保続
3. 後悔
4. 悲嘆
5. 葛藤

45-A-084 一側性の脳損傷による顔面神経麻痺で障害をきたすのはどれか。2つ選べ。

1. 前頭筋
2. 眼輪筋
3. 口輪筋
4. 側頭筋
5. 咬筋

45-A-085 新生児に見られないのはどれか。

1. ホッピング反応
2. 交叉性伸展反射
3. 陽性支持反応
4. 逃避反射
5. 把握反射

45-A-086 骨折と合併しやすい神経麻痺との組合せで正しいのはどれか。

1. 上腕骨骨幹部骨折——腋窩神経麻痺
2. 上腕骨顆上骨折——正中神経麻痺
3. 橈骨遠位端骨折——橈骨神経麻痺
4. 大腿骨骨幹部骨折——大腿神経麻痺
5. 脛骨骨幹部骨折——脛骨神経麻痺

45-A-087 慢性的な使い過ぎで起こるスポーツ障害はどれか。

1. 頸椎捻挫
2. 肩鎖関節脱臼
3. 上前腸骨棘剥離骨折
4. 腰椎分離症
5. アキレス腱断裂

45-A-088 強直性脊椎炎で正しいのはどれか。

1. 20歳代の女性に好発する。
2. 急性発作で発病する。
3. 血沈は正常である。
4. 虹彩毛様体炎を伴う。
5. 四肢の関節は障害されない。

45-A-089 熱傷で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. III度熱傷は真皮層までの損傷をいう。
2. 四肢関節部位は特殊部位と呼ばれる。
3. 癒痕形成の予防として圧迫と伸張が用いられる。
4. 手の熱傷では手内筋プラスポジションとなりやすい。
5. 小児の熱傷面積を算出する場合は9の法則を用いる。

45-A-090 優位半球損傷に特徴的な症状はどれか。

1. 検者が示した指先への注視運動が出来ずに視点も定まらない。
2. 損傷した脳の反対側から呼びかけても顔面を向けられない。
3. 検者が出したジャンケンのチョキの模倣動作ができない。
4. 裏返しになった衣服を正しく着ることができない。
5. 閉眼したまま提舌を20秒以上持続できない。

45-A-091 右延髄外側の脳梗塞で認められるのはどれか。

1. 右顔面の温痛覚障害
2. 右顔面神経麻痺
3. 右上斜筋麻痺
4. 右片麻痺
5. 左小脳性運動失調

45-A-092 Parkinson病で認められるのはどれか。2つ選べ。

1. 反張膝
2. 前傾姿勢
3. 突進歩行
4. 大殿筋歩行
5. はさみ足歩行

45-A-093 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 間質性肺炎は湿性咳嗽が多い。
2. 気管支拡張症は血痰が出ることは少ない。
3. 肺気腫は初期からチアノーゼが出やすい。
4. 過換気症候群はバチ指を呈しやすい。
5. 睡眠時無呼吸症候群は急に眠気に襲われることが多い。

45-A-094 出血の症状で正しいのはどれか。

1. 少量の咯血は致死的にならない。
2. 上部消化管出血はコーヒー残渣様の吐物となる。
3. 下部消化管出血は黒色軟便となる。
4. 下部消化管出血は大量出血となる。
5. 内痔核からの出血は光沢のある暗赤色の便となる。

45-A-095 高齢者に発生しやすいのはどれか。

1. I型糖尿病
2. 関節リウマチ
3. 多発性骨髄腫
4. 多発性硬化症
5. 線条体黒質変性症

45-A-096 わが国で生涯有病率が最も高いのはどれか。

1. うつ病
2. てんかん
3. 強迫性障害
4. 統合失調症
5. パニック障害

45-A-097 「細部に拘泥して重要なことを要領よく話すことができない」症状はどれか。

1. 保続
2. 迂遠
3. 思考制止
4. 思考途絶
5. 観念奔逸

45-A-098 アルコール離脱せん妄でみられるのはどれか。2つ選べ。

1. 作 話
2. 幻 覚
3. 振 戦
4. 嫉妬妄想
5. 動眼神経麻痺

45-A-099 小児の精神障害で正しいのはどれか。

1. 吃音は強迫性障害に分類される。
2. ネグレクトによって反応性愛着障害が起こる。
3. 児童期に妄想型統合失調症が発症することはない。
4. 選択性緘黙は脳の器質的病変を原因とすることが多い。
5. 一過性チック障害の約半数が Tourette 障害に進行する。

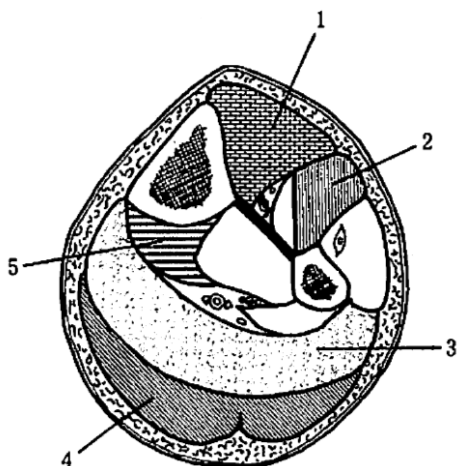
45-A-100 うつ病の治療で正しいのはどれか。

1. 重要な事項についての自己決定を促す。
2. 抗うつ薬は三環系薬物が最も広く用いられている。
3. 抗うつ薬の副作用を説明する。
4. 症状の改善後には抗うつ薬を速やかに中止する。
5. 電気痙攣療法は効果がない。

45-P-051 関節軟骨で正しいのはどれか。

1. 弾性軟骨である。
2. 再生能力が低い。
3. 滑膜で覆われている。
4. 表面には神経終末が分布する。
5. 豊富な血管によって栄養される。

45-P-052 右下腿中央部やや上方の横断図を示す。ヒラメ筋はどれか。



45-P-053 大脳で正しいのはどれか。

1. 中心溝によって左右半球に分けられる。
2. 外側溝によって側頭葉と後頭葉とに分けられる。
3. 鳥距溝によって頭頂葉と後頭葉とに分けられる。
4. 脳梁によって左右半球は連結している。
5. 脳弓によって下垂体は視床下部と連結している。

45-P-054 伸張反射の反射弓を構成するのはどれか。2つ選べ。

1. α 運動線維
2. Ia 群求心性線維
3. Ib 群求心性線維
4. III 群求心性線維
5. IV 群求心性線維

45-P-055 心臓で正しいのはどれか。

1. 心臓壁は3層からなる。
2. 大動脈弁は2尖である。
3. 右心室から肺静脈が出る。
4. 卵円窩は心室中隔にある。
5. 健常成人の心臓は約 500 g である。

45-P-056 正しいのはどれか。

1. 眼球外膜は角膜と強膜とからなる。
2. 眼球運動は4種類の外眼筋が行う。
3. 水晶体は虹彩の前面にある。
4. 毛様体は強膜の外側にある。
5. 網膜は硝子体の全面を覆っている。

45-P-057 正しいのはどれか。2つ選べ。

1. リンパ管には弁機構が存在しない。
2. 毛細リンパ管は単層の内皮細胞からなる。
3. 胸管は右側の静脈角に合流する。
4. 右腰リンパ本管は右リンパ本管に入る。
5. 脾臓はリンパ性器官の1つである。

45-P-058 正しいのはどれか2つ選べ。

1. 気管支には線毛がある。
2. 気管支の分岐角は左より右が大きい。
3. 細気管支でガス交換が行われる。
4. 壁側胸膜が肺表面に接している。
5. 縦隔には食道が通っている。

45-P-059 内分泌腺とその位置との組合せで誤っているのはどれか。

1. 上皮小体——甲状腺の前面
2. 下垂体——トルコ鞍上面
3. 松果体——間脳の背面
4. 副腎——腎臓の上面
5. 胸腺——胸骨の背面

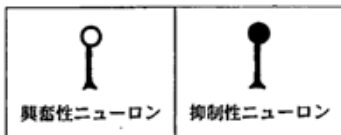
45-P-060 外胚葉から発生するのはどれか。2つ選べ。

1. 松果体
2. 甲状腺
3. 上皮小体
4. 乳腺
5. 卵巣

45-P-061 末梢神経で正しいのはどれか。

1. 節後性交感神経線維は有髄神経である。
2. 大径の運動神経線維は無髄線維である。
3. 無髄線維は Schwann 細胞に覆われている。
4. 有髄線維は直径が大きいほど伝導速度が遅い。
5. 神経筋接合部にはノルアドレナリンが含まれている。

45-P-062 図の名称で誤っているのはどれか。



1. 拡散



2. 収束



3. シナプス後抑制



4. 反回抑制



5. 側方抑制

45-P-063 正しいのはどれか。

1. コルチ器官には有毛細胞がある。
2. 耳小骨は鼓膜の音振動を減弱させる。
3. 耳小骨に付着する筋が収縮すると音の伝達は増幅される。
4. 音に対する蝸牛の基底膜の反応は周波数によらず一定である。
5. 有毛細胞の不動毛はどの方向に動いても有毛細胞を脱分極させる。

45-P-064 ヘモグロビンが酸素を離しにくくなる状態はどれか。

1. 体温の上昇
2. PaCO₂ の低下
3. 血液 pH の低下
4. 血中ケトン体の増加
5. 血中 2,3-DPG (ジフォスフォグリセリン酸) の増加

45-P-065 人の免疫機構で正しいのはどれか。

1. B 細胞は細胞性免疫を担当する。
2. T 細胞は活性化して形質細胞となる。
3. マクロファージは T 細胞から分化する。
4. ナチュラルキラー細胞は体液性免疫を担当する。
5. ヘルパー T 細胞は B 細胞を活性化する。

45-P-066 肝臓の機能でないのはどれか。

1. レニンの分泌
2. 蛋白質の合成
3. ビタミンの貯蔵
4. アルブミンの生成
5. グリコーゲンの合成

45-P-067 正しいのはどれか。

1. 排便反射の中樞は腰髄にある。
2. 内肛門括約筋は陰部神経支配である。
3. 外肛門括約筋は骨盤神経支配である。
4. 排便時には直腸平滑筋が弛緩する。
5. 排便時には内肛門括約筋が弛緩する。

45-P-068 体温について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 腋窩温は直腸温よりも高い。
2. 体温調節中枢は視床下部にある。
3. 一般に男性は女性よりも皮膚温が低い。
4. ヒトの体表温度は核心温度とも呼ばれている。
5. 体温が低いと筋肉を収縮させて熱を発生させる。

45-P-069 代謝で誤っているのはどれか。

1. 呼吸商 (RQ) は摂取する栄養素によって異なる。
2. 特異動的作用 (SDA) とは食物摂取後の体温上昇である。
3. 基礎代謝量 (BM) は同性、同年齢ならば体表面積に比例する。
4. エネルギー代謝率 (RMR) は基礎代謝量を基準とした運動強度である。
5. 代謝当量 (MET) は安静臥位時の代謝量を基準とした運動強度である。

45-P-70 肩関節の運動と主動筋との組合せで正しいのはどれか。

1. 屈曲——大円筋
2. 伸展——小円筋
3. 外転——棘上筋
4. 内旋——棘下筋
5. 外旋——肩甲下筋

45-P-071 手で正しいのはどれか。

1. MP 関節は 1 度の運動自由度をもつ。
2. MP 関節屈曲の主動筋は浅指屈筋である。
3. PIP 関節屈曲の主動筋は深指屈筋である。
4. 母指の CM 関節は 2 度の運動自由度をもつ。
5. 手関節を背屈すると手指の伸展がしやすくなる。

45-P-072 片側の収縮時に頭頸部または体幹を反対側へ回旋させるのはどれか。2つ選べ。

1. 内腹斜筋
2. 外腹斜筋
3. 板状筋群
4. 胸鎖乳突筋
5. 後頭下筋群

45-P-073 成人の静止立位で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 重心位置は第 2 腰椎のやや前方にある。
2. 小児よりも身長に対する重心位置が高い。
3. 頭部の重心線は環椎後頭関節の前を通る。
4. 重心線は膝関節軸の後方を通る。
5. 重心線は足関節軸の前方を通る。

45-P-074 正しいのはどれか。

1. 一次運動野は筋緊張の調節に関与する。
2. 運動前野は記憶に基づいた連続運動に関与する。
3. 補足運動野は視覚情報を運動に変換する。
4. 大脳基底核は運動時の感覚情報を中継する。
5. 小脳は無意識的な運動スキルの習得に関与している。

45-P-075 生理的加齢によって脳の容積が縮小しているときの細胞の状態はどれか。

1. 壊死
2. 化生
3. 萎縮
4. 変性
5. 異形成

45-P-076 糖尿病で正しいのはどれか。

1. 膵臓からのインスリンの分泌亢進によって起こる。
2. 糖尿病性腎症では血尿が特徴的である。
3. 診断のために経口ブドウ糖負荷試験を行う。
4. 血糖値が正常ならば尿糖陽性にならない。
5. HbA1c はインスリン抵抗性の指標になる。

45-P-077 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 肺気腫では肺胞の破壊を特徴とする。
4. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。
5. 酸素取り込みよりも二酸化炭素排出が阻害されやすい。

45-P-078 正しい組合せはどれか

1. Freud——普遍的無意識
2. Jung——オペラント条件付け
3. Piaget——来談者中心療法
4. Rogers——自由連想法
5. Winnicott——移行対象

45-P-079 自転車の乗り方などの熟練に関連する記憶はどれか。

1. エピソード記憶
2. プライミング
3. 手続き記憶
4. 展望記憶
5. 意味記憶

45-P-080 人物の描かれた絵を見せて物語を連想させる心理検査はどれか。

1. 人物描画法
2. 文章完成法
3. 絵画統覚検査
4. ロールシャッハテスト
5. ベントン視覚記銘検査

45-P-081 心理療法で正しいのはどれか。

1. 陽性転移の出現を目標とする。
2. 逆転移を認識したときは治療を中止する。
3. 自律訓練法では不安階層表を作成させる。
4. 絵画療法は統合失調症急性期に有効である。
5. バイオフィードバックはオペラント条件付けを用いた手法である。

45-P-082 国際生活機能分類 (ICF) で正しいのはどれか。

1. 対象範囲を障害者としている。
2. 参加制約という用語は使用しない。
3. 環境因子は生活機能に大きく影響する。
4. 活動とは生活へのかかわりあいを指す。
5. 病因論的な枠組みから健康状態を分類している。

45-P-083 痙縮が出現するのはどれか。

1. 多発筋炎
2. 多発性硬化症
3. 腕神経叢麻痺
4. 急性灰白髄炎 (ポリオ)
5. Guillain-Barré 症候群

45-P-084 筋疾患で正しいのはどれか。

1. Duchenne 型ジストロフィーは中枢神経系形態異常を伴う。
2. Becker 型ジストロフィーは 5 歳までに発症する。
3. 顔面肩甲型ジストロフィーは腰臀部の筋から発症する。
4. 筋強直性ジストロフィーはミオトニアがみられる。
5. 肢帯型ジストロフィーはミオパシー顔貌がみられる。

45-P-085 膝関節疾患の症状とその説明との組合せで誤っているのはどれか。

1. キャッチング—運動時に膝に引っかかりを感じる。
2. 膝くずれ—荷重時に膝がガクッと折れそうになる。
3. ロッキング—膝が一定の角度で屈伸不能になる。
4. 伸展不全—自動的な完全伸展が不能となる。
5. 弾発現象—膝の中でのものが動く感じがする。

45-P-086 骨壊死を起こしやすいのはどれか。

1. 上腕骨外科頸骨折
2. 肘頭骨折
3. 中手骨骨折
4. 大腿骨頸部内側骨折
5. 踵骨骨折

45-P-087 Osgood-Schlatter 病で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 運動時痛がある。
2. 女兒の罹患率が高い。
3. 大腿骨顆部に圧痛がある。
4. 大腿四頭筋筋膜に部分断裂を生じる。
5. 骨端線の閉鎖以降に症状は消失しやすい。

45-P-088 関節リウマチでみられないのはどれか。

1. 関節の亜脱臼
2. 腱鞘滑膜の炎症
3. 関節軟骨の破壊
4. 関節内の結晶析出
5. 関節周囲の腱断裂

45-P-089 中心性頸髄損傷の特徴はどれか。

1. 20歳代に多い。
2. 大きな外力によって生じる。
3. 頸堆の脱臼骨折を伴う。
4. 知覚麻痺は重度である。
5. 下肢よりも上肢の運動障害が著しい。

45-P-090 神経筋接合部の障害が病態の中心である疾患はどれか。

1. ボツリヌス中毒症
2. 筋萎縮性側索硬化症
3. 急性散在性脳脊髄炎
4. Guillain-Barré 症候群
5. Charcot-Marie-Tooth 病

45-P-091 障害によって翼状肩甲をきたすのはどれか。

1. 肩甲上神経
2. 肩甲背神経
3. 肩甲下神経
4. 長胸神経
5. 内側胸筋神経

45-P-092 胸郭出口症候群の成因に関係するのはどれか。2つ選べ。

1. 胸骨
2. 鎖骨
3. 上腕骨
4. 第1肋骨
5. 第1胸椎

45-P-093 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 不整脈を伴うことが多い。
3. 心電図ではST上昇がみられる。
4. 血中の白血球数の増加がみられる。
5. ニトログリセリンの舌下投与が治療に有効である。

45-P-094 内分泌機能と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 甲状腺機能低下——尿崩症
2. 下垂体前葉機能亢進——クレチン病
3. 下垂体後葉機能低下——糖尿病
4. 副腎皮質機能亢進——Cushing 症候群
5. 副腎髄質機能亢進——Basedow 病

45-P-095 加齢によって増加するのはどれか。

1. 夜間尿量
2. 腰椎骨密度
3. 左室駆出率
4. 動脈血酸素分圧
5. 最大酸素摂取量

45-P-096 統合失調症で予後良好に関連する因子はどれか。

1. 陰性症状
2. 急性の発症
3. 早い発症年齢
4. 神経学的症状
5. 統合失調症の家族歴

45-P-097 認知症で記銘力低下と関連して出現する妄想はどれか。

1. 被毒妄想
2. 心気妄想
3. 罪業妄想
4. 憑きもの妄想
5. もの盗られ妄想

45-P-098 うつ病でみられる症状はどれか。2つ選べ。

1. 自閉
2. 幻視
3. 妄想
4. 昏迷
5. 途絶

45-P-099 てんかん発作にみられて、失神にみられな
いのはどれか。

1. 意識消失
2. 脳波異常
3. 前駆症状
4. 低血圧
5. 健忘

45-P-100 薬剤とその典型的副作用との組合せで正
しいのはどれか。

1. 抗うつ薬——不安発作
2. 抗不安薬——脱力
3. 抗精神病薬——幻覚
4. 抗てんかん薬——錐体外路症状
5. Parkinson 病治療薬——無月経